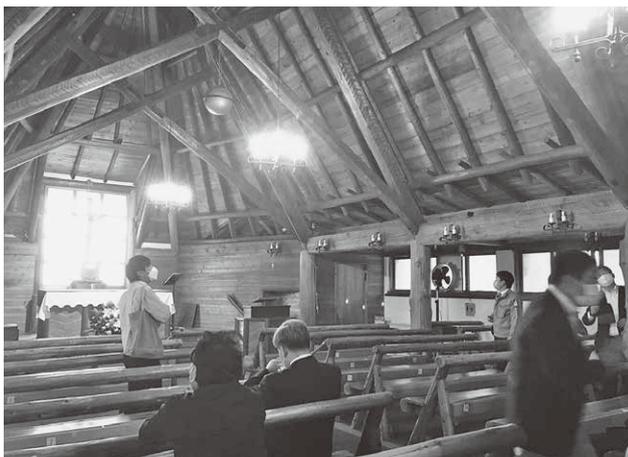


### 「合同研修会(視察研修会)」を実施

群馬県コンクリートブロック事業協

10月13日、組合員及び取引事業者による建築物の視察研修を実施。長野県軽井沢町に点在する名建築家アントニン・レーモンド氏が手掛けた教会や別荘を訪れ、参加者は、建築物の構造を熱心に見学した。また、現地では、小山工業高等専門学校の名誉教授・川上勝弥氏の講演会を聴講。建築基準法改正に伴うコンクリート規格と検査方法の改定等について学んだ。

移動するバスの中では、アントニン氏を取り上げたテレビ番組の放映や、途中、レンガ建築として名高い「めがね橋」も訪問するなど、充実した研修内容となった。



教会の構造を熱心に見学する参加者

### 小学生に板金加工の技術を伝える

群馬県板金工

10月14日、太田市内の小学校を訪問し、「ものづくり体感事業」を行った。本事業は、板金の

仕事を体験し、職人の技を知ってもらおうという試みで、22名の6年生が、卒業の記念品として、銅板レリーフづくりに取り組んだ。まず、生徒が選んだ花やアニメキャラの絵を薄い銅板に転写、その下絵を鉄筆でなぞる作業から開始。その後、竹べらを使って絵に膨らみを出す作業や、汚れとり、ツヤ出しなどの表面加工を経て完成。精細な上、力が必要な作業を組合員5名が優しくサポートした。約2時間で仕上げたレリーフを額に収めながら、自慢そうに見せ合う姿が見られた。



真剣に取り組む生徒を組合員が優しくサポート

### 前橋まちなかホップ・コミュニティ・プロジェクトによるビール完成イベントを開催

前橋中心商店街協

10月16日、まえばしスマイルフェスのイベントに併せ、本組合が中心となり、まちなかで栽培し、収穫したホップを利用して作ったオリジナルビール「前橋めぶく。ビール」の初披露を行った。オリジナルビールは、苦味は強め、芳醇でフルーティーな風味に仕上がったとのこと。今回醸造された約180ℓ(約450杯分)のビールは完売。

来年には、まちなかの飲食店等で提供する予定で、まちなかに新設される醸造所での生産を計画している。乾杯には、山本龍前橋市長も駆けつけ、前橋産クラフトビールの完成を祝した。



まちなかで収穫したホップ(左)  
乾杯の音頭をとる山本前橋市長(右)